

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	小児高次能機能障害	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1)
対象学年	2年生	学 期	前期 土曜日2・3限	教室名	ことばの相談室実習室・603
担当教員	松尾 泰子 高松 光雪				
実務経験と その関連資格	<p>高松:言語聴覚士として神戸市立心身障害福祉センターにおいて自閉症スペクトラム児、知的障害児、限局性学習症の言語指導・コミュニケーション指導に5年間従事、同時に西宮YMCAのLDクラスを担当し、LD児の学習指導に2年間従事。 2000年4月～言語聴覚士養成校にて教員を20年間(内2005年～2019年 大阪医療福祉専門学校 言語聴覚士学科 学科長) 現在、川西市の児童発達支援センターにて保護者支援とSTへの助言、猪名川町保健センターにて「ことばの教室」での発達相談の講師として従事。 松尾:言語聴覚士として小児通園施設での勤務を経て、2003年より大阪医療福祉専門学校 学内実習施設「ことばの相談室」を開室し発達障害児の言語訓練及び保護者相談に従事している。 日本言語聴覚士協会 会員 生涯学習部部員 日本発達障害学会 会員 大阪府言語聴覚士会 会員 高木: 言語聴覚士として小児の医療福祉センターで入院している肢体不自由児・者への摂食嚥下、コミュニケーションのリハビリテーションに従事。外来では神経発達症(知的能力障害、自閉スペクトラム障害、限局性学習障害等)や</p>				
《授業科目における学習内容》					
1年後期からのことばの相談室実習を引き続き実施する。3～4名で1症例担当とするが、基本は一人で言語聴覚療法を実施する。訓練計画書、デイリー(SOAP)を作成し、teamsに提出。別途、教員からのフィードバックを受ける。また、症例報告をまとめ、パワーポイントにまとめ報告を実施する。					
《成績評価の方法と基準》					
実技40%:訓練実施(対象児、保護者)、訓練計画書、デイリー(記録)作成、出席点 レポート20%:症例報告会用レジュメ(グループ作成)、発表 レポート40%:訓練結果報告書(保護者用)					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
参考図書:言語聴覚士のための臨床実習テキスト(小児編) 建帛社					
《授業外における学習方法》					
不明な点は教員に報告、連絡、相談、確認を徹底して下さい。					
《履修に当たっての留意点》					
言語聴覚士として、患者に対する責任感と謙虚且つ真摯な姿勢を学ぶと共に、訓練結果を出せるような柔軟な学習をしていきましょう。社会人の基礎となる、報告、連絡、相談、確認も意識しながらアクティブラーニングを実践していきましょう。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	1年の後期に実施した訓練内容の振り返りと今後の実習の目的を知る	レジュメ		
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション			
第2回	授業を通じての到達目標	言語聴覚療法検査・評価を実践できる。訓練計画を立案できる。基本的な言語聴覚療法が実施できる。	実習に必要なと思われる物を各自用意	(予習)指導目標(訓練計画表)作成 教材準備	
	各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習①			
第3回	授業を通じての到達目標	実習指導者の助言のもと、レポート作成ができる。実習を通じて、今後の自己の課題を検討する。	デイリー	各実習毎にSOAPで記載しteamsにて提出。当日中。	
	各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習フィードバック			
第4回	授業を通じての到達目標	言語聴覚療法検査・評価を実践できる。訓練計画を立案できる。基本的な言語聴覚療法が実施できる。	実習に必要なと思われる物を各自用意	(予習)指導目標(訓練計画表)作成 教材準備	
	各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習②			
第5回	授業を通じての到達目標	実習指導者の助言のもと、レポート作成ができる。実習を通じて、今後の自己の課題を検討する。	デイリー	各実習毎にSOAPで記載しteamsにて提出。当日中。	
	各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習フィードバック			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	言語聴覚療法検査・評価を実践できる。訓練計画を立案できる。基本的な言語聴覚療法が実施できる。	実習に必要と思われる物を各自用意	(予習)指導目標(訓練計画表)作成 教材準備
	各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習③		
第7回	授業を通じての到達目標	実習指導者の助言のもと、レポート作成ができる。実習を通じて、今後の自己の課題を検討する。	デイリー	各実習毎にSOAPで記載しteamsにて提出。当日中。
	各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習フィードバック		
第8回	授業を通じての到達目標	言語聴覚療法検査・評価を実践できる。訓練計画を立案できる。基本的な言語聴覚療法が実施できる。	実習に必要と思われる物を各自用意	(予習)指導目標(訓練計画表)作成 教材準備
	各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習④		
第9回	授業を通じての到達目標	実習指導者の助言のもと、レポート作成ができる。実習を通じて、今後の自己の課題を検討する。	デイリー	各実習毎にSOAPで記載しteamsにて提出。当日中。
	各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習フィードバック		
第10回	授業を通じての到達目標	要点をまとめて実習報告ができる。後輩指導を積極的に実践する。	デイリー	1年生への引継ぎが出来るように必要な情報をまとめておく。
	各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習にかかる引継ぎを行う。		
第11回	授業を通じての到達目標	要点をまとめて実習報告ができる。後輩指導を積極的に実践する。	デイリー	1年生への引継ぎが出来るように必要な情報をまとめておく。
	各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習にかかる引継ぎを行う。		
第12回	授業を通じての到達目標	要点をまとめて実習報告ができる。後輩指導を積極的に実践する。	デイリー	1年生への引継ぎが出来るように必要な情報をまとめておく。
	各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習にかかる引継ぎを行う。		
第13回	授業を通じての到達目標	ケースカンファレンスで報告する事項を整理し、エビデンスを示しながら報告できる準備をする	デイリー	症例報告用レジюме作成
	各コマにおける授業予定	症例報告会用レジюмеの作成		
第14回	授業を通じての到達目標	ケースカンファレンスで報告する事項を整理し、エビデンスを示しながら報告できる準備をする	デイリー	症例報告用レジюме作成
	各コマにおける授業予定	症例報告会用レジюмеの作成		
第15回	授業を通じての到達目標	ケースカンファレンスで報告する事項を整理し、エビデンスを示しながら報告できる	レジюме	症例報告用レジюме
	各コマにおける授業予定	ことばの相談室実習症例報告会		